

## 8. 経緯概略

年	月	日	曜日	渡辺 + SDG	調査委員会・県からの公式書類	新聞記事・その他	
2003	8	26	火		PM8:20 落下事故発生（自然落下）	朝日・読売 インターネット上で報道PM9:55	
		27	水	始発新幹線で新潟現場へ。高橋・中田・福永・鹿島・亀尾 AM9:30 新潟警察現場検証と共に現場観察と撮影	港湾空港局長・記者会見「ワイヤーが切れたのではないか」 落下事故について知事コメント「今後適切に対応」	朝日「連絡通路が落下」「ドドッ・突然落下」 朝日「今川・設計・施工時のミスありうる」	
		29	金	設計図書・書類の掘出し開始	港湾空港局長「調査班の設立について」調査班発足	新潟日報「県原因究明で週明けにも第三者委員会を設置」	
		31	日	調査班に設計説明	事故原因調査に係わる事情聴取・設計関係者	朝日「今川・側面の設計にミスか、強度計算の検証必要」	
	9	1	月	構造計算書の集積と再編成、高橋・中田・加藤	新潟県調査委員会発足・第1回調査委「現地調査」	各社「通路落下事故で現地調査」	
		6	土	調査委員会への構造説明書の作成開始	第2回調査委「われわれの仮説を立証するために解析を行う」	毎日「施工が複雑な手順」	
		13	土	AM10:00-PM1:00 調査委員会に設計説明	第3回調査委「施工過程をシミュレーションで再現したい」	朝日「設計者と施工者の意志疎通不十分」	
		21	日	調査班からの追加資料提出依頼の回答書を福地事務所に送る	第4回調査委「材料試験の結果報告を受けた」	新潟日報「落下の発端は斜材ロッドか」	
		27	土	台北事務所にNHK内田からTEL。		新潟日報「関係者に損害賠償請求・知事表明」	
		28	日	PM3:00-PM8:00 NHK新潟のインタビュー収録	調査委員会「経過報告書」発行	新潟日報「責任の所在いずこ」	
		3	金	他2橋に県は仮設支柱設置の報、無視する		NHK新潟放送局25分放映「中田・神田・JSCA出演」	
	10	5	日	事故原因崩壊解析のまとめ	第5回調査委「崩壊のメカニズムと情報公開の要望」	朝日「原因は斜材抜け落ち」	
		6	月	事故原因崩壊再解析で検証	第一建設HP 実大実験結果の掲載	新潟日報「業者、支柱追加を要望・県と協議し加えず」	
		10	金	SDG内で事故原因解明に成功			
		25	土	新潟日報よりtel、30日夜に単独会見の約束	第6回調査委「実験結果を見ると設計の想定より小さい」	新潟日報「実験に較べ設計に余裕がなかった」	
		27	月	発注契約および第一建設実験について資料収集	第一建設HP 実大実験の詳細	読売「接合部の強度不十分」	
30		木	PM2:30 九段会館で記者発表。	JSCA/TF 中間報告1	建設工業「設計荷重不足明らかに」		
31		金	終日、新聞各社から問い合わせ		読売「上部鉄骨の溶接不十分」		
11	9	日		第7回調査委「斜材ロッドの張力不足が定着部の崩壊に」	港湾空港局長「最終報告は12/21」		
	16	日	報告書完成。県調査委・丸山委員長あて書簡発送				
	23	日	定着部実験計画の作成開始	第8回調査委「定着部から壊れた」	日経新聞「設計ミス原因か」		
	25	火	森川班長あて県保管部品の貸し出し依頼書	森川班長から事情聴取の実施依頼	建設工業「構造の安全率なく、設計ミスと断定」		
	28	金	丸山委員長と森川班長に要望書を出す	再開発室、SDG事情聴取12/2依頼	建設工業「崩壊のメカニズムを解明」		
12	21	日		第9回調査委「崩壊メカニズム要旨」	新潟日報「設計、施工とも強度不足」		
	24	水	「崩壊メカニズム要旨」に関する異議申立書を県へ、記者会見	JSCA・TF 中間報告2	読売「設計担当者が異議申立て」		
2004	1	16	金		第10回調査委「最終報告書まとまる、19日に知事に報告」	新潟日報「発注自体にも問題」	
		19	月	報告書・添付資料を入手、内容検討を開始	調査委が「調査報告書」および「添付資料」を知事に提出	新潟日報「最終報告書を提出」	
		23	金	新潟県知事・県議会に報告書に対する「意見書」を送付		朝日「設計ミス、チェックもれ」	
		26	月	朝日新聞からコメントの要求 日鐵テクノリサーチから説明断りのfax	県事故調査班「事故原因と責任の所在」 港湾空港局長「損害賠償請求について」	新潟日報「県が損害賠償全額請求へ」 テレビ新潟「朱鷺メッセ事故、損害賠償9億円に」	
	2	13	金	港湾空港局長と面談。県の賠償請求について。	港湾空港局長と面談。副局長その他5人が同席	JSCA会長「朱鷺メッセ連絡橋事故からの教訓」談話発表	
	3	25	木	平山知事に要望書提出・解体撤去の前の実物試験について		新建築・大森編集長からレター。	
	4	14	水		3/25知事あて要望の拒否、解体撤去の開始通知		
		15	木	港湾空港局長に書簡発送		NHK・朝日・新潟日報・日経に残存デッキについて連絡	
		24	土	黒沢建設と試験実施について最終協議	県知事「損害賠償請求通知書」が配達証明で		
		5	10	月	知事に賠償請求についての回答書を郵送	港湾空港局長に単独試験実施の書簡を送る	日刊建設工業「解体入札執行を延期」
		6	10	木	午後1時現地試験開始。3時終了。試験成功		新潟テレビ「現地試験の様相」を放映
		7	8	木	県へ「鉄骨部材の貸し出しの再度のお願い」を送付	県から鉄骨部材の貸し出しの拒否回答	建設通信「妥当性欠く費用請求」
		8	13	金	残存デッキを用いたロッド定着部の実験室試験計画書を完成 日大実験室・試験開始		
			20	金	公開試験日・PM2:00とPM4:00の2回に説明会	はつり調査の確認の実施について	読売「強度に問題なし」
		9	7	火		県は「新潟地方裁判所に訴状提出」	報道資料「損害賠償請求に係わる提訴について」
			18	土	新潟地方裁判所から分厚い訴状を受け取る		
10	28	木	答弁書の作成、訴訟告知の検討開始		10/23中越地震発生 M6.8		
11	17	水	新潟地方裁判所に行く。答弁書および訴訟告知書を提出。				
	26	金	新潟地方裁判所・第一回口頭弁論		新潟日報「通路落下、6社とも争う構え」		
12	13	月	「何故、落ちたのか」座談会 建築技術主催				
	1	11	火	黒沢建設の求釈明に対して原告から釈明しないの連絡あり			
2005	2	8	火	新潟地方裁判所・第二回口頭弁論			